

2024年
10月号
✪

原水協通信 (大阪版)

国連 NGO 原水爆禁止日本協議会
毎月1回6日発行
〒113-8464 文京区湯島2-4-4
(大阪原水協)〒542-0012
大阪市中央区谷町 7-3-4
新谷町第3ビル 210号
電話 06(6765)2552
FAX 06(6765)2837



私たちの街から核兵器禁止条約に参加する日本を 日本は核禁条約にいますぐ参加を！

ウクライナ、ガザ、核兵器の使用をほめかした威嚇が繰り返されています。世界はふたたび核兵器使用の危機を迎えています。私たちはこの危機をただながめていることしかできないのでしょうか？核兵器使用の危機と脅威に対して、核兵器で対抗することは破壊の道ではないことは明らかです。

核兵器禁止・廃絶を求める国々と市民は団結して、核兵器の使用も威嚇も許さないと核保有国の手を縛っています。

あらたにインドネシア、シエラレオネ、ソロモン諸島が批准しました。日本が禁止条約に参加すれば、平和を求める国際社会の期待に応え、高い信頼を得て、核兵器廃絶の流れに勢いを与えます。日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める決議の採択が進んでいます。そして、日本政府に提出した「日本も核兵器禁止条約に参加を」と求める署名は、累計で150万人分を超えました。世界は核兵器禁止・廃絶への日本のリーダーシップを待っています。戦争・核破局か、平和・安全と非核か、世界の進路を決するのは、主権者である私たちです。

国連軍縮週間の宣伝を行います。ガザ問題を中心に宣伝を行います。終りの見えない戦争の火種が、広がっています。アメリカの戦争を回避する努力のかけらも見えません。是非、多くの方の参加を呼びかけます。

宣伝場所 天王寺駅東口

日・時 10月30日(水)

17時30分より

広島・長崎・ビキニ被災展示パネルを活用し、

あらゆる機会を通じて広げていきましょう！

大阪府内の多くのところから、パネル展の開催報告が大阪原水協に届いています。26日の「非核日本キャンペーン」交流集會でも、各団体からの活動が報告され、ますます、運動の重要性が明らかになっています。「核兵器のない世界」の実現と日本の核兵器禁止条約への参加のために、人類の生存と相容れない核兵器の非人道性についての国民的な理解と合意をめぐっています。

日本原水協の「広島・長崎被爆展示組写真」より11枚(広島・長崎被爆写真【白黒】9点、核実験被害【カラー】2点)に、新たに12枚(原爆投下の解説、ビキニ水爆実験被災の実相、有権者の過半数を超えた署名運動、核兵器禁止条約)が加わりました。まだまだ注文を受け付けています。大阪原水協迄注文をお願いします。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書決議

687自治体

(2024年9月20日現在)

■大阪府(10):和泉市議会、泉佐野市議会、摂津市議会、高石市議会、富田林市議会、阪南市議会、河南町議会、太子町議会、忠岡町議会、岬町議会

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

2024年9月22日の到達 127,109筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。

各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。

報告は、FAX 及びメール、署名の郵送等をお願いします。

いわさきちひろ2025年版カレンダー—積極的な普及のお願いします！ 大阪原水協の普及目標は4000本です。被災地にも届けます！

平和へのねがいをたくして

「ちひろカレンダー」の制作が始まった当時はベトナム戦争が激化、日本ではベトナム戦争反対の声が広がるなか、ちひろさんの描き下ろしの作品として制作された「ベトナムの子ども、わたしたちの日本の子ども、世界中の子どもみんなに平和とあわせを」と大書きされたポスターは大きな反響を呼びました。「ベトナムにヒロシマ・ナガサキをくり返させるな」とかかげた原水爆禁止運動のなかでも話題になり、これをきっかけに「核兵器廃絶、被爆者援護・連帯のちひろカレンダー」が生まれました。

いま、戦争や武力紛争で多くの子どもたちの尊厳が失われています。すべての子どもたちの未来に戦争も核兵器もない平和で公正な世界をの願いを広げるために運動を支え広げるようご協力下さい。また、お寄せいただいた募金でカレンダーを被災地へ届けます。

大阪原水協迄申し込んで下さい。

- 環境にやさしい紙で綴じるホットメルトを採用
 - 大豆を原料とした植物性インクを使用
 - A2判・絵7枚
 - 頒価1650円(税込)
- ※25本以上は送料無料となります。



2025 Calendar
いわさきちひろ

品名	数量	単価	合計
「ちひろカレンダー」	1冊	1650円(税込)	1650円
送料			0円
合計			1650円

大阪原水協第62回定期総会開催のお知らせ

「核兵器禁止条約」は発効後3年8か月になり、批准国も増え73カ国となりました。ロシアによるウクライナ侵略とイスラエルの方撃攻撃で核兵器威嚇発言が続く中ですが、これまでの条約の成果を確認し、来年3月の第3回締約国会議では「核抑止についての報告」することが決定されています。

日本原水協は非核日本キャンペーンが提起し、実践がはじまりました。非核日本キャンペーンは「被爆者が生きていくうちに核兵器の廃絶を」の願いにこたえるために、今年がビキニ被災から70年、来年が広島長崎に原爆が落とされて80年になることから、原爆の被爆の実相を大いに広げ、日本政府が核兵器禁止条約への署名批准をするよう取り組みを強化していく提起です。大阪原水協としてもこの提起にこたえ、取り組みの実践を行っています。

岸田首相は、裏金事件など一連の不祥事を理由に退陣表明しました。しかし岸田政権が進めてきたものは核兵器禁止条約に背を向け続ける一方で「戦争国家」の道に突き進み、軍備の大増強、軍事基地の強化など、憲法をじゅうりんしました。本来、日本政府がやるべきことは、憲法9条にもとづく平和外交で戦争を起させず、核兵器禁止条約に被爆国として率先して参加し、核兵器のない世界の実現のために力を合わせることでです。

「日本政府は核兵器禁止条約署名・批准を求める署名」を推進し、「核兵器禁止条約に署名・批准」する政府をつくるために奮闘しなくてはなりません。また、年々増額の一途をたどっている、「軍事費の増大化を許さず、国民生活に予算を」の世論を広げていきましょう。

大阪原水協は2025年度の運動方針、予算の確立、役員の選出を行う第62回定期総会を下記の日程で開催いたします。
加盟団体・個人会員の出席をお願いいたします。

2024年9月24日、核兵器禁止条約に新たにインドネシア、シエラレオネ、ソロモン諸島が批准して、批准国は73か国になりました。署名国は94カ国です。

【お知らせ】①「国連軍縮週間宣伝」

天王寺駅東口で行います。総選挙投票日の関係で日程は「30日(水)17時30分～」で行います。

② 大阪原水協 総会開催のお知らせ

2024年11月22日(金) 18:30~20:00

社会福祉会館403号室 で行います。

